

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	No35	火災発生予防に関し年2回の消防訓練を行っているが近隣に案件を抱えるため消防署とも連携をとりながら昼夜を問わず利用者が避難できる方法を職員が身につけ地域との協力体制を築かなければならない。	昼夜を問わず利用者が避難できる方法を職員が身につける  地域との協力体制を築く	年2回の消防訓練にとどまらず反復することでの確認と自信、様々な想定での(出火場所など)シミュレーションを重ねて、訓練、研修の取り組みを記録として残す  消防署とも連携をとりながら対応に関する最善策を運営推進会議の場でも報告し話し合う 食事中は見守りと介助の職員がつき、職員は時間をずらして食事を摂る	6ヶ月  2ヶ月に1回
2	No40	食事全介助やミキサー食の方など誤嚥の危険性が高く、細心の注意が必要な方が3名いるために見守りと介助が必要でありかつ、食事が楽しみなものになるよう一人ひとりの好みや力を活かさなければならない。	誤嚥防止  食事が楽しみなものになる	嗜好や季節、行事にあわせて献立をたて食を楽しみ1,15日には、少量のお酒やワインも楽しんでいただく。また野菜の下ごしらえや食器拭きなど一人ひとりの力を活かしていく	毎日  毎月1,15日
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。